

厚労省元局長事件  
判決下る!

自由

冤罪

大阪弁護士会シンポジウム

主催：大阪弁護士会 共催（予定）：日本弁護士連合会／近畿弁護士会連合会

# 可視化でストップ! 違法な取調べ

## ～枚方談合事件と厚労省元局長事件 特捜捜査の闇を斬る!～

2010(平成22)年9月10日、厚労省の元局長村木厚子氏(起訴休職中)が虚偽有印公文書作成・同行使罪に問われた事件の判決公判が大阪地方裁判所で開かれます。

同事件では、検察庁特別捜査部(いわゆる「特捜」)の強引な手法、特に密室での取調べで関係者に記憶と異なる内容の調書作成を強要する手法が問題となりました。

そこで、同事件判決の翌日である9月11日、大阪弁護士会では、緊急シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、同事件、及び、やはり強引な特捜捜査の手法が問題となった枚方市談合事件(逮捕・起訴された小堀隆恒元副市長が無罪)も題材に、特捜捜査の問題点、そして、取調べ全過程の録画・録音＝取調べの可視化実現の必要性について、市民の皆様と共に改めて考えたいと思います。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

program

### ●第1部 厚労省元局長事件判決報告

出演 弘中惇一郎 弁護士(厚労省元局長事件主任弁護士)

### ●第2部 枚方談合事件(特捜捜査の実態)

出演 小堀隆恒氏(枚方市元副市長)

### ●第3部 特捜捜査の限界と問題点

出演 大谷昭宏氏(ジャーナリスト)

### ●第4部 パネルディスカッション

— 特捜捜査の闇と取調べの可視化 —

パネリスト(予定) 弘中惇一郎 弁護士、小堀隆恒氏、大谷昭宏氏  
小坂井久 弁護士(日本弁護士連合会取調べの可視化実現本部副本部長)  
秋田真志 弁護士(日本弁護士連合会取調べの可視化実現本部事務局長)

【開催日】

平成22年

9月11日(土)

午後1:00～午後4:30  
大阪弁護士会館2階ホール

【お問い合わせ】

大阪弁護士会

06-6364-1227

事前申込不要

FREE 入場  
無料

密  
室  
冤  
罪  
自  
白

# Profile

(出演者略歴)

## 弘中惇一郎 弁護士

(東京弁護士会所属 厚労省元局長事件主任弁護士)

1968年 東京大学法学部卒業  
1970年 最高裁判所司法研修所修了(22期)  
2004年 法律事務所ヒロナカ開設

【主な出版物】

「検証医療事故」(1990年、有斐閣)  
「薬害エイズ事件の真実」(2008年、現代人文社)等多数

## 小堀隆恒氏

(枚方市元副市長)

1965年 枚方市職員として採用  
2003年 同市助役(後に副市長に名称変更)就任  
2007年 同市副市長再任  
2007年 (5月)いわゆる枚方市談合事件で逮捕、その後起訴  
2009年 (4月)大阪地方裁判所にて無罪判決(検察官控訴なし・確定)

# 可視化でストップ! 違法な取調べ

## 本シンポジウムを開催するにあたって

2010(平成22)年9月10日、厚労省の元局長村木厚子氏(起訴休職中)が虚偽有印公文書作成・同行使罪に問われた事件の判決公判が大阪地方裁判所で開かれます。

同事件では、裁判所が村木氏の元部下(同容疑で起訴)の「村木課長(当時)の指示で偽証明書を作った」との内容の供述調書を「(検察官が)覚えていないのなら多数決だ、とするなど誘導の可能性がある」と指弾し、「取り調べに問題があった」として、すべて却下しました。また、「村木課長から格安便認可の証明書を手渡された」という自称障害者団体「凜の会」の元会長の供述調書もすべて却下されました。このように、同事件では、捜査段階の検察庁特別捜査部(いわゆる「特捜」)の捜査に問題があったことが明らかとなっています。

近時、上記事件のみならず、特捜捜査の強引な手法、特に密室での取調べで関係者に記憶と異なる内容の調書作成を強要する手法が問題となる事案が多く見られます。

言うまでもなく、このような違法とも言える捜査の温床となっているのは、取調室という密室で、録画・録音されることなく行われる取調べです。

ところが、政権与党である民主党は、前回衆議院選挙時に同党マニフェストに「可視化実現」を謳いながら、今日までその実現に向けた実質的取り組みを行っていません。

そこで、村木元局長の判決の翌日に開催される本シンポジウムでは、特に特捜捜査に顕著な、密室取調べの問題点を指摘すると共に、上記弊害を除去するために、取調べ全過程の録画・録音=取調べの可視化実現が急務であることを、市民の皆様と共に改めて考えたいと思います。



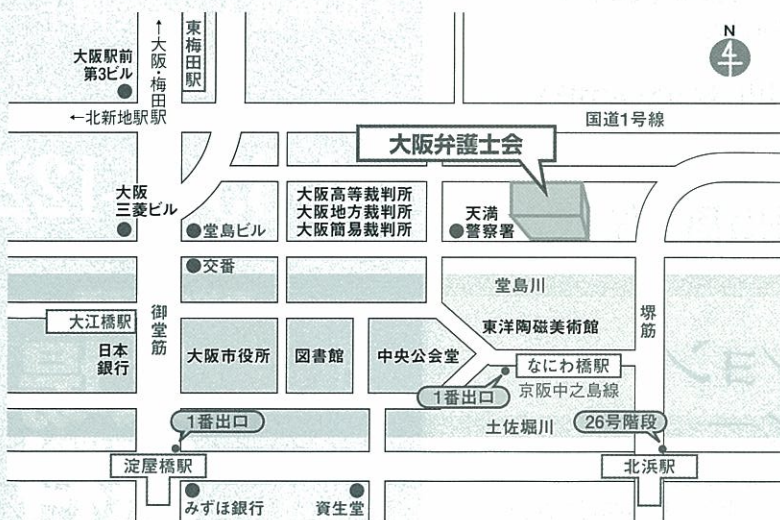
## 大谷昭宏氏

(ジャーナリスト)

1945年 東京生まれ  
1968年 早稲田大学政経学部卒業  
1968年 読売新聞大阪本社入社  
1980年 朝刊社会面コラム「窓」欄担当。以後7年間にわたって同欄担当  
1987年 読売新聞社を退社後、大阪に事務所を設けて、ジャーナリズム活動を展開している。

【主な著書】

「監視カメラは何を見ているのか」(角川新書)  
「警察幹部を逮捕せよ!—泥沼の裏金作り」(旬報社)  
「日本警察の正体」(日本文芸社)  
「事件記者1~3」(幻冬舎文庫)等多数



【お問い合わせ】

06-6364-1227

【住所】

〒530-0047

大阪市北区西天満1-12-5 大阪弁護士会館

- 京阪中之島線「なにわ橋駅」下車 1号出口から徒歩約5分
- 地下鉄・京阪本線「淀屋橋駅」下車 1号出口から徒歩約10分
- 地下鉄・京阪本線「北浜駅」下車 26号階段から徒歩約7分
- JR東西線「北新地駅」下車 徒歩約15分